才一巧亦不二

芥川龍之介

ヴォルテエルが子供の時は神童だつた。

処が、或る人が、

「十(とを)で神童、十五で才子、二十(はたち)過ぎれば並(なみ)の人、といふこともあるから、子供の時に悧巧(りかう)でも大人(おとな)になつて馬鹿(ばか)にならないとは限らない。だから神童と云はれるのも考へものだ」と云つた。

すると、それを聞いたヴォルテエルが、その人の顔を眺めながら、

「おじさんは子供の時に、さぞ悧巧(りかう)だつたでせうね」

と云つたといふことがある。

これと全然同じ話が支那にもある。

北海の孔融が矢張り神童だつた。
処が、大中大夫陳煒といふものが矢張り、

「子供の時悧巧でも大人になつて馬鹿になるものがある」

と云つたのを孔融が聞いて、

「あなたも定めて子供の時は神童だつたでせう」と云つた。

孔融は三国時代の人であるが、この話が十八世紀のフランスに伝はつて、ヴオルテエルの逸話になつたとは考へられない。すると、神童といふものは、期せずして東西同じやうに、相手の武器を奪つて相手をへこ

ませることを心得てゐるものとみえる。

（大正十四年九月）

底本：「筑摩全集類聚　芥川龍之介全集第四巻」筑摩書房
　　　１９７１（昭和46）年６月５日初版第１刷発行
　　　１９７９（昭和54）年４月10日初版第11刷発行
入力：土屋隆
校正：松永正敏
２００７年６月26日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんで

す。